

## 令和2年度 第2回那賀高等学校 学校運営協議会 協議等の概要

### 1 日 時

令和2年11月18日（水）午後3時から午後4時まで

### 2 場 所

那賀高等学校 大研修室

### 3 活動報告（前回の協議に基づく）等

#### （1）新委員の紹介

松谷 隆文 氏の後任として着任された「大塚製薬株式会社徳島ワジキ工場長」  
たかす が よしお  
高須賀 義男 氏を紹介した。

#### （2）那賀町特別支援教育連絡協議会ワーキンググループへの参加について

那賀高校から中川指導教諭が、驚敷並びに相生中学校地区のワーキンググループに参加し、小・中学校との情報共有を行った。今後、地元中学生が本校に進学した場合は、切れ目のない支援が一層可能になると考えられる。

#### （3）徳島大学サテライトキャンパス訪問について

森林クリエイト科3年生8名と引率教員2名が、とくしまイノベーションセンター（徳島大学サテライトキャンパス）を訪問し、林産物の高付加価値化研究や6次産業化教育について詳しい説明を聞いた。この訪問が、大学での学びなどを知る機会となり、本校生徒の進学意欲の発揚につながると考えられる。

### 4 協 議

#### （1）コミュニティ・スクール導入に伴う今後の取組について

すでに、2つの取組が実現したが、今年度は「新型コロナウイルス感染症」の影響で、多くの取組が実施できていない。

しかし、学校行事においては、「新型コロナウイルス感染症」の影響により、インターンシップの受け入れ先が十分には見つからず、2年生普通科のインターンシップが中止になった際、那賀町の支援により町内の「きとうむら」や「黄金の村」、「阿南農協海川工場」などの企業見学が実施できた。

(2) 各委員からの提言等について

- ア 森林クリエイト科の生徒たちは、サテライトキャンパスで一生懸命話を聞いてくれたので、教える側にとっても非常に有意義な時間が持てた。
- イ 今年度那賀高校に設置された電子黒板を活用して、大塚製薬株式会社ワジキ工場との連携事業等、新型コロナウイルスの影響で実施が難しくなっている取組をオンラインで実施することも考えられるのではないかと。
- ウ 那賀町の清流座の活動を動画配信したが、こうした活動に高校生が参加することも大きな意義があると考えている。那賀高校と連携し、若者の意見も取り入れた取組を継続的に行うことで、お互いの相乗効果に繋がる活動としていきたい。
- エ 今後の取組に関しては、次年度以降の実施も視野に入れて考えていくべきである。
- オ それぞれの立場で連携協力をしながら、今年できることは順次進めていくとともに、引き続きともに寄り添いながら「地域とともにある学校づくり」を推進していきたい。

(3) 『令和2年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」』について

コミュニティ・スクールの制度で活用できる人材として、地域学校協働活動推進員の制度があることを説明した。今年度は文化祭や体育祭を非公開とするなど、人材を十分に活用できる状況になかったため、委員の方々に適任者の推薦を依頼した。

5 その他（事務連絡）

- (1) 「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」の案内を行った。
- (2) 第3回学校運営協議会は、2月下旬に開催する予定である。